



2018年3月期上期

連結決算の概要

テルモ株式会社

代表者 代表取締役社長 CEO 佐藤 慎次郎

問合せ先責任者 広報室長 大曲 昌夫

TEL : 03-6742-8550

E-mail : kouhou_terumo01@terumo.co.jp

URL : <http://www.terumo.co.jp/>

2017年11月9日

2018年3月期 上期 決算概要

テルモ株式会社
常務執行役員 IR・広報室担当
北島 一明

2017年11月9日

売上および全ての利益において過去最高を達成

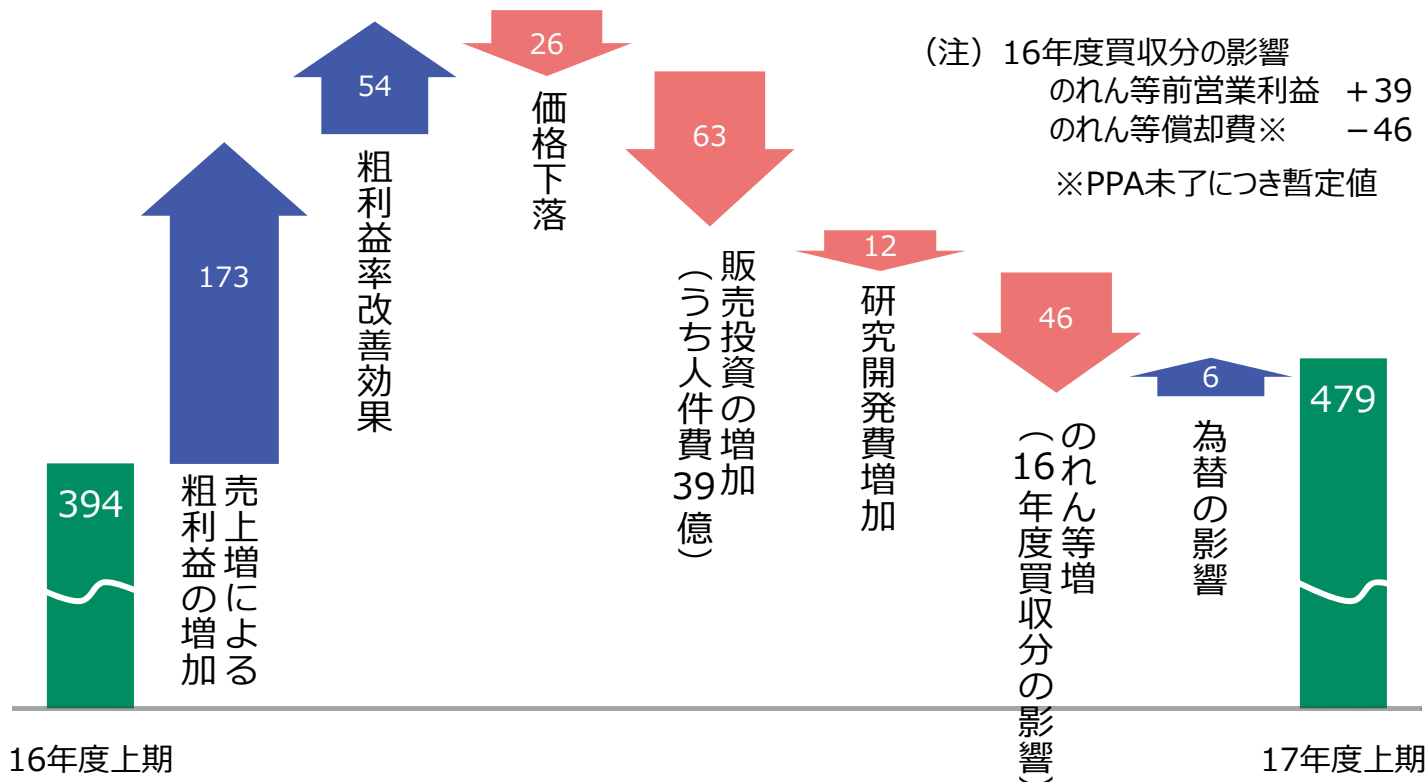
(億円)

	16年度上期	17年度上期	増減率	為替除く 増減率
売上高	2,451	2,846	+16%	+12%
粗利益	1,350 (55.1%)	1,597 (56.1%)	+18%	+15%
一般管理費	793 (32.4%)	938 (33.0%)	+18%	+14%
研究開発費	163 (6.6%)	180 (6.3%)	+11%	+8%
営業利益	394 (16.1%)	479 (16.8%)	+22%	+20%
(のれん等償却除く)	486 (19.8%)	624 (21.9%)	+28%	+26%
経常利益	306 (12.5%)	470 (16.5%)	+53%	
純利益	204 (8.3%)	330 (11.6%)	+61%	
期中平均レート	USD 105円	111円		
	EUR 118円	126円		

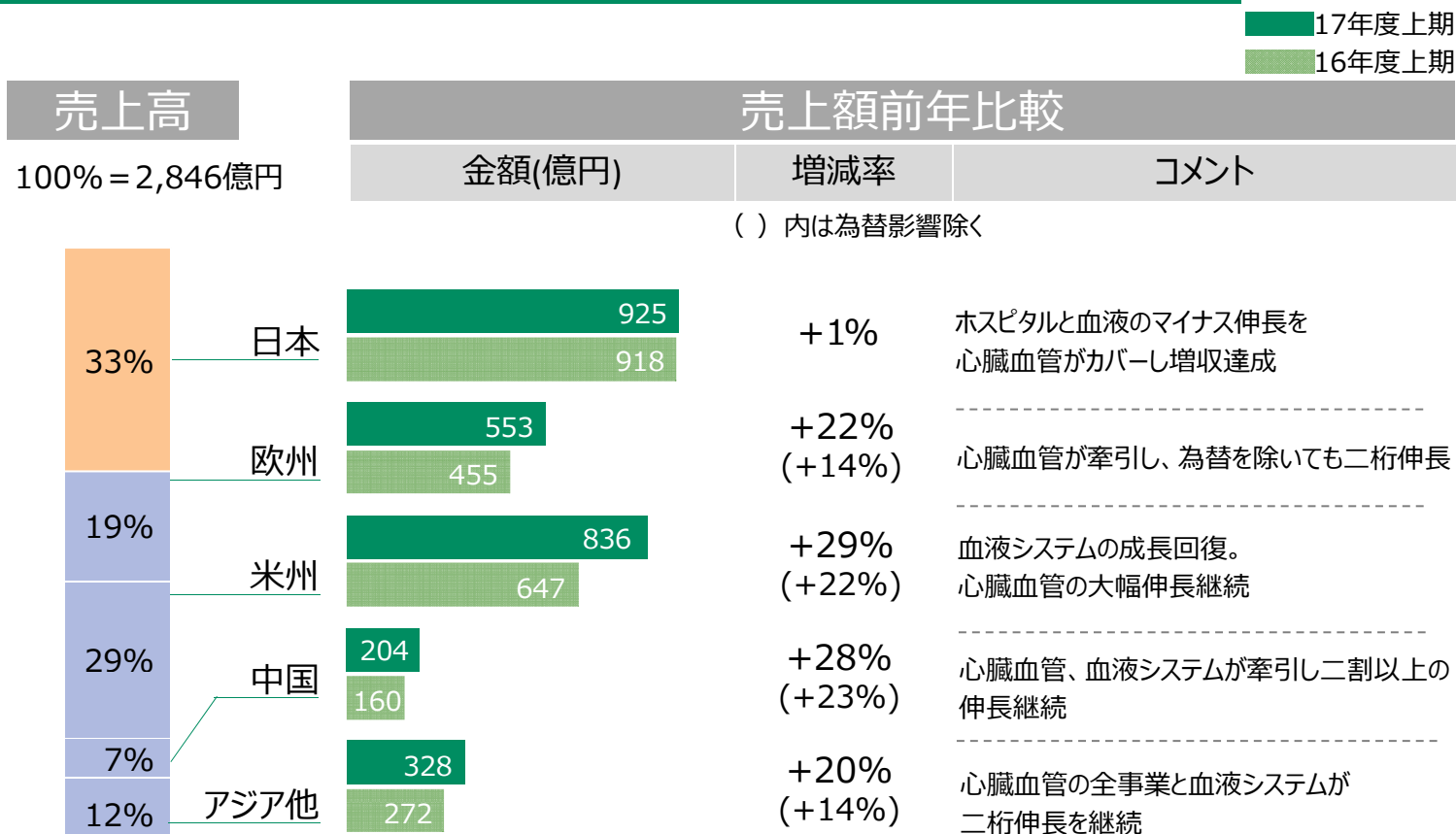
- 売上高 : 心臓血管カンパニーが全体を牽引し、為替を除いても二桁伸長を達成
- 営業利益 : 3カンパニー全てが二桁伸長し大幅増益を達成。三期連続で最高益更新
- 経常利益 : 前年同期の為替差損 (66億) に対し、今年度は差益 (4億)

営業利益増減分析

(億円)



地域別売上高

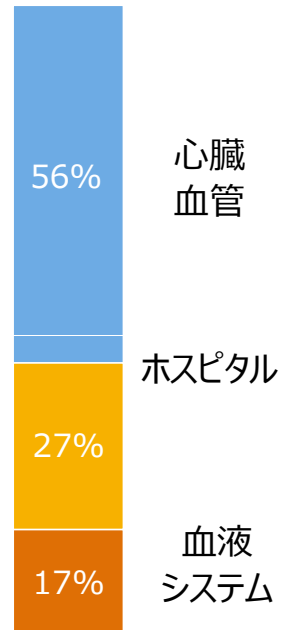


カンパニー別売上高

17年度上期
16年度上期

売上高

100% = 2,846億円



売上額前年比較

金額(億円)	増減率	コメント
() 内は為替影響除く		
心臓血管 17年度上期: 1576 16年度上期: 1215	+30% (+24%)	買収した製品が好調を維持。既存事業の好調なモメンタムも変わらず。為替の影響を除いても全事業で二桁伸長達成
ホスピタル 17年度上期: 777 16年度上期: 782	-1% (-2%)	海外を中心とした低収益事業の整理。国内では、医療器における代理店の在庫調整の影響は縮小、ポンプ買控えも緩和傾向にあり2Qは増収
血液システム 17年度上期: 492 16年度上期: 452	+9% (+4%)	新興国を中心に血液センター向け製品が伸長継続。北米におけるアフレス治療が牽引



5/10

心臓血管：大幅な増収増益を達成

(億円)

	16年度上期	17年度上期	増減率	主なトピック	金額
() 内は為替影響除く					
売上高	1215	1576	+30% (+24%)	為替の影響	+74
				TIS : 海外のアクセス、カーディオロジーが牽引	+58
				ニューロ : 米中亜を中心にハイドロゲルコイルや吸引カテーテルが牽引	+30
				CV : アナーバー工場品の出荷再開	+19
			買収による増加	+174	
事業利益(率)	330 (27%)	410 (26%)	+24% (+26%)	売上拡大により大幅な増益達成。高収益製品の拡大や高価格市場の米国での伸長が寄与し、高収益性維持	



6/10

ホスピタル：大幅な収益性改善

(億円)

	16年度上期	17年度上期	増減率	主なトピック	金額
() 内は為替影響除く					
売上高	782	777	-1% (-2%)	為替の影響	+10

				医療器 : 海外の低収益事業の縮小 (国内、ポンプ等は戻り基調)	-8
				ヘルスケア : 国内外アカウントの整理	-4
事業利益(率)	112 (14%)	135 (17%)	+20% (+19%)	海外における低収益事業の縮小。国内輸液ラインの売上拡大・コスト減や疼痛緩和製品の大幅なコスト減。開発費の戻り(アライアンス)・経費の期ズレの発生	

血液システム：売上成長および収益性の改善基調続く

(億円)

	16年度上期	17年度上期	増減率	主なトピック	金額
() 内は為替影響除く					
売上高	452	492	+9% (+4%)	為替の影響 (対ドル・ユーロ安)	+24

				血液センター : 新興国の二桁伸長継続	+5
				アフレス治療や細胞処理が海外中心に伸長	+11
事業利益(率)	65 (14%)	78 (16%)	+20% (+25%)	新興国を中心とした血液センター向け製品の物量増。収益性の高いアフレス治療向け製品が北米で拡大したことにより増益	

主なトピックス

全社

■ 17年度グッドデザイン賞を受賞



血管内超音波システム
「ピジキューブ」
「アルタビュー」



医用電子血圧計
「エレマーノ2」

■ CSR活動：米ハリケーンや九州集中豪雨被害への義援金・物資支援
芸術・文化活動への助成（伝統工芸継承の支援）

事業

■ 南カリフォルニアにMicroVention Worldwide Innovation Center開設
ニューロ、TIS末梢血管領域の開発シナジー加速（9月）

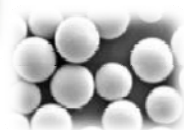


■ 豪州で「Ultimaster」ローンチ（8月）

■ 日本で「テルフュージョン輸液ポンプ28型」ローンチ（8月）



■ 欧州で放射線塞栓ビーズ「QuiremSpheres」ローンチ（9月）



9/10

17年度パイプライン製品のローンチ状況

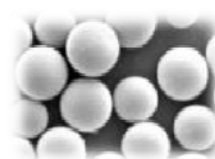
領域	製品	地域
心臓	PTCAバルーン	米: Q4
ペリ フェラル	ステント(TRI)	★ 日・米・欧 Q4
	PTAバルーン(TRI)	★ 日・米・欧 Q4
	PTAガイドングシース(TRI)	★ 日・米・欧 Q4
	薬剤塗布バルーン	◎ ★ 欧: Q4
	塞栓コイル	◎ 済み
脳	プロテクションデバイス	済み
	ハイドロゲルコイル3D	済み
オンコロジー	放射線塞栓ビーズ	★ 済み

領域	製品	地域
CV	人工心肺装置(再出荷)	◎ 済み
	次期・人工肺	◎ 日・欧 FY18
医療器	縦型・輸液ポンプ	日: 済み
	抗がん剤暴露防止システム	済み
DM	パッチ型・インスリンポンプ	★ 日
血液	次期・成分採血装置ソフトウェア	日: 済み

◎ 業績貢献 大、★ イノベーション度 高



縦型・輸液ポンプ
「テルフュージョン
輸液ポンプ28型」日



放射線塞栓ビーズ
「QuiremSpheres」欧



次期・成分採血装置ソフトウェア
「トリマクセルVer.7」日



10/10

2018年3月期 上期 連結決算 補足資料

セグメント別売上概況

(単位:百万円)

%=前年比

	2017年3月期 上期			2018年3月期 上期					
	日本	海外	合計	日本	%	海外	%	合計	%
TIS	17,424	67,293	84,717	18,763	7.7%	90,931	35.1%	109,695	29.5%
ニューロバスキュラー	1,429	10,449	11,879	1,404	-1.7%	15,447	47.8%	16,852	41.9%
CV	4,728	13,997	18,726	4,904	3.7%	16,615	18.7%	21,519	14.9%
血管	917	5,299	6,216	1,292	40.8%	8,212	55.0%	9,504	52.9%
心臓血管カンパニー	24,500	97,039	121,540	26,365	7.6%	131,206	35.2%	157,572	29.6%
医療器	25,131	12,424	37,555	24,732	-1.6%	12,675	2.0%	37,408	-0.4%
D&D	21,481	-	21,481	21,263	-1.0%	-	-	21,263	-1.0%
DM・ヘルスケア	10,473	1,629	12,102	10,375	-0.9%	1,479	-9.2%	11,854	-2.0%
ホスピタルシステム小計	57,085	14,053	71,139	56,371	-1.3%	14,155	0.7%	70,526	-0.9%
アライアンス	4,399	2,703	7,102	4,279	-2.7%	2,898	7.2%	7,178	1.1%
ホスピタルカンパニー	61,485	16,756	78,242	60,651	-1.4%	17,053	1.8%	77,705	-0.7%
血液システムカンパニー	5,717	39,510	45,227	5,378	-5.9%	43,835	10.9%	49,214	8.8%
その他	100	-	100	107	7.0%	12	-	119	19.2%
計	91,803	153,306	245,110	92,502	0.8%	192,107	25.3%	284,610	16.1%

(期中平均為替レート)

(¥105.20)
(¥118.04)

(¥111.04)
(¥126.32)

キャッシュ・フロー計算書 (要約)

	2017年3月期 上期	2018年3月期 上期
営業キャッシュ・フロー	39,830	46,963
投資キャッシュ・フロー	△ 45,637	△ 19,579
フリーキャッシュ・フロー	△ 5,806	27,383
財務キャッシュ・フロー	21,408	12,108
現金及び現金同等物の換算差額	△ 9,455	1,373
現金及び現金同等物の増減	6,145	40,865
現金及び現金同等物の期首残高	146,927	105,046
現金及び現金同等物の期末残高	153,072	145,912

参考情報

	2017年3月期 上期	2018年3月期 上期	2018年3月期 見通し
研究開発費	16,274	18,039	41,000
設備投資額	15,910	18,959	46,500
減価償却費	21,111	27,754	56,000
一株当たり当期純利益(円)	56.27	93.66	150.58

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。